

参加要領

大会参加費		特別割引	
会 員	4,500円	退 職 者	4,000円
一 般	5,000円	新任2年目まで	4,000円
学生会員	2,000円	同一職場からの参加(一人当たり)	4,500円
学 生	3,000円	1日のみの参加	3,000円
		1日のみ参加の学生	2,000円

宿泊費
 宿泊先：ホテルサンルート千葉
 住所：千葉県千葉市中央区新千葉1丁目4番地1号
 宿泊を希望される方 1泊朝食付きで11,000円です。
 申し込みを希望される方は、HP上の申し込みフォームに記入の上、締め切りまでにWebで、または郵送でお申し込み下さい。直前の場合は宿泊は受け付けることができません。

昼食について
 当日学内の施設は営業していません。各自ご持参ください。

申し込み書記入について
 申込書に、分科会、実技講座、宿泊等の必要事項をご記入下さい。
 ・宿泊、実技講座とも定員になり次第締め切らせていただきます。

大会内容についてのお問い合わせ
 ◎手労研事務局
 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
 千葉大学教育学部 生活科 鈴木隆司研究室
 Tel. 043-290-2580 e-mail : t-suzuki@faculty.chiba-u.jp

参加申込方法

1. 申込書の内容をホームページの第46回大会申し込みフォームに打ち込み、送信して下さい。ホームページをご利用でない方は下記申し込み書に記入の上、中村源哉宛に郵送して下さい。(手労研事務局では申し込み受付はしていません。)
2. 実技講座については、先着順で受け付けます。ご希望に添えない場合は、連絡いたします。ただし、連絡は第一期に申し込んだ方のみとさせていただきます。
3. 下記銀行口座に参加費・宿泊費等必要な費用をお振り込み下さい。
4. 振り込みが確認された後、受付票を送付します。大会直前に申し込まれた場合は、行き違いになるおそれがあるので受付票は大会事務局に留め置きます。該当の方は当日受付にお申し出下さい。
5. お一人の方が何人かまとめて振り込みをされる場合は、振り込まれる方の申込用紙の備考欄(Webではメモ欄)に全員の氏名をご記入下さい。
6. 同一職場から複数の方が参加される場合は参加費の割引があります。参加申込書に勤務先と、同じ職場の方の氏名をご記入下さい。(ただし、他の割引との併用はできません。ご了承下さい。)
7. キャンセルの場合は必ず中村源哉までご連絡下さい。3日前までのキャンセルは手数料を除いて返金いたします。それ以降は、大会要項をお送りしますが、返金はできません。あらかじめご了承下さい。

申込期日

第一期	2019年5月1日(水)～6月30日(日)	宿泊を希望される場合は7月19日(金)までに申し込みをしてください。
第二期	7月1日(月)～7月25日(木)	

申 込 先

- ホームページ <https://terouken.jp> (手労研)
- 郵送で
 手労研大会事務局 中村 源哉(なかむら げんや)
 〒195-0073 東京都町田市薬師台1-25-29
 TEL: 090-9689-8280

※不在の場合留守電にお名前、用件を入れて下さい。

振 込 先

振込先 みずほ銀行 町田支店
 普通口座 1640223
 名 義 ナカムラ ゲンヤ

大会の内容については事務局にお問い合わせ下さい。

手労研 第46回大会参加申込書 (申込日 月 日)

氏名	フリガナ	男	会員	学生会員	一般	学生	新任	同一職場	退職者	同一職場からの参加者名
連絡先	[〒] [TEL. - -]									自宅・携帯・職場
	E-mail :	@								
宿泊(申込むところに○を)	大会参加費 (該当するところに○を)									
8/3(金)【前泊】	会 員	4,500円	特別割引							
シングル(¥11,000-)	一 般	5,000円	退 職 者	4,000円	新任2年目まで	4,000円	同一職場からの参加	4,500円	1日のみの参加	3,000円
8/4(土)【当日】	学生会員	2,000円	1日のみ参加の学生	2,000円						
シングル(¥11,000-)	学 生	3,000円								
参加する分科会	I 遊び・生活	II ものづくり・生活科・総合学習	III 工作教育	IV 特別支援教育	V 井戸端分科会					
参加する実技講座	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
申込金	参加費 (円)	宿泊費 (円)	備考							
	合計 (円)	左記金額を指定銀行口座に振込み、参加を申し込みます。								

千葉大学(西千葉)キャンパスマップ

- JR西千葉駅から大学正門まで徒歩5分
 正門から入ってすぐ左へと進む
 そのまま道なりに5分ほど進むと左手に附属小があります。



子どもの遊びと手の労働研究 第46回(千葉) 全国大会のご案内

大会テーマ
子どもとともに遊びと手しごとを!

2019年8月3日(土)～8月4日(日)



今こそ手づくり!
 遊びの楽しさを!
 そして本物の学びを!

会場 千葉大学教育学部附属小学校 TEL: 043-290-2462
 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33

主催：子どもの遊びと手の労働研究会(手労研)
 宿泊先：ホテルサンルート千葉 TEL: 043-301-3301 千葉県千葉市中央区新千葉1-4-1

この夏、手労研との出会いと、本物の学びでパワーアップ

大会日程		9:00	11:00	12:00	13:00	14:30	17:00	19:00
8月3日(土)	受付		片付け	昼食	全体会 基調提案 活動の方針	分科会 I	遊びの会	
8月4日(日)		分科会 II	昼食 総会	実技講座	閉会集会			

15:3016:00

手労研とは…<https://terouken.jp> (手労研で検索!)
 遊びやものづくりを中心に、幼児から成人まで幅広く実践と研究をすすめてきた市民団体です。1973年結成、会報は40年以上欠けることなく発行し、500号を超えました。会員は全国におよそ250名です。
 代表委員 須藤敏昭(大東文化大学名誉教授) 事務局長 鈴木隆司(千葉大学教育学部教授)

1日目 8月3日(土)

手づくり市 9:00 ~ 11:50

たくさん作って、遊んで盛り上がりよう!

各支部で自慢の手づくり・遊びの屋台でつくり放題、遊び放題! 授業の小ネタ盛りだくさん! 今年は特に「遊び」にスポットライトを当てます! あなたの技を手づくり市で披露しませんか?



全体会 13:00 ~ 14:20

基調提案

『根っこを求めて』 ~改めてこだわりたいものづくり~



中村源哉 (元和光小学校教員・常任委員)

担任時代の学級活動や総合学習での飼育や栽培も含めたものづくりの実践、工作専科になっても続けたものやものづくりへのこだわり、そこで得られた学習の楽しさ、豊かさを中心にお話ししていきたいと思えます。

分科会 I 14:30 ~ 17:00 全国各地の実践に学ぼう

第1分科会 あそび・生活

乳・幼児期、児童期を通しての育ちを「遊び・生活」という2つの視点から考え合ひましょう。「クラスづくりって...」「夢中になる遊んで...」「子どもの育ちの背景って...」話題は盛りだくさん!

第2分科会 ものづくり、生活科・総合学習

ものづくりと生活科・総合学習では、どうすれば「本物の学び」に迫っていけるのか?教材や授業づくりについて、手労研の楽しい実践から学びます。

第3分科会 「工作・技術」の教育

子どもたちの発想や工夫を生かしながら主体的に取り組むにはどうしたらよいか、また技術や技能を身につけていく筋道とは。実践をもとに考えていきたいと思えます。

第4分科会 特別支援教育

年齢が上になってきても、発達課題や集団としての育ちを手掛かりにすることで、次に向かっていく方向性も明らかに出来るものです。昨年に引き続き、その場での輝き、育ちを重視しながら、明日何ができるかを語り合える場にしましょう。

第5分科会 井戸端分科会

退職された方、現場を持たない方などが集う分科会です。地域やさまざまな施設などで活躍されている方の実践を学び合います。手労研で培ってきた力を伝えていくこと・広めていくことさあ あなたも一歩踏み出しましょう!

遊びの会 17:00 ~ 19:00

明日から使えるみんなのできる遊びを楽しみましょう。交流の輪を広げていきましょう。



2日目 8月4日(日)

分科会 II 9:00 ~ 12:00

前日の分科会 I と同じように分かれて、レポート報告を基に話し合いを行います。

総会 12:00 ~ 13:00

年に一度の総会です。明日の手労研を考える大切な会です。

実技講座 13:00 ~ 15:30

各講座は、いずれも手労研で培ってきた魅力的なものです。どれか一つに参加できます。内容と講師は右ページにあります。

閉会集会 15:30 ~ 16:00

大会をふり返り、実技講座でできた作品の紹介や分科会の報告、今年度の表彰を行う全国大会のフィナーレです。



実技講座 13:00 ~ 15:30

内は定員 内は参加者の持ち物

①無電源スピーカー 15人 中山義人 (東京)  板材を貼り合わせて無電源で増幅させるスピーカーを製作します。	②貼り合わせでつくる木の車 15人 中村源哉 (東京)  5枚の板を貼り合わせて立体的な車を作ります。
③1からのカレー作り (ミニ体験) 15人 山本剛大 (東京)  実践を紹介しつつ、子どもたちが栽培した材料からカレーを作ります。	④織り 15人 佐藤政子 (東京)  一本の糸から、布を作ります。
⑤釘でナイフを作ろう 15人 平見 凧 (千葉)  釘を使ってよく切れるナイフを作ります。	⑥簡単にできるうどん作り 15人 和田昂騎 (千葉)  小麦粉でうどん作り!こねる感触から仲間づくりまで豊かに学べます。
⑦でんぐり人形 15人 乙津徳子 (川崎)  布やフェルトで作る人形。タオル地の斜面に置くと、クルリクルリとでんぐり返しをします。	⑧りんごと青虫 15人 日比野里都江 (愛知)  身近な物の組み合わせで、動く工作をしよう <small>筆記用具、はさみ</small>
⑨箱入り娘 15人 山崎ゆり子 (豊中)  娘のコマをスライドさせて、出口まで動かす頭を使うパズルです。 <small>木工ボンド、サインペン</small>	⑩究極の割箸鉄炮 15人 東森茂美 (大阪)  普通の割箸から究極の割箸鉄炮を作ります。 <small>ものさし、カッターナイフ</small>
⑪小噺をつくって遊ぼう 15人 竹中折鶴 (大阪)  楽しい小噺を話せるようになりますか。竹中折鶴先生が教えます!	⑫ゾートロープ 15人 堀 愛 (鳥取)  覗いてみるとあら不思議。ステキなアニメーションを作れます。
⑬革で作る道具袋 10人 三浦浩一 (兵庫)  道具袋をつくと革を縫う技術をマスターできます。	みんなでものづくりを楽しもう! <small>※定員を超えると受付できなくなりますので、申込はお早めに。</small>